

教 育 費

1 0 教育費 1 教育総務費 1 教育委員会費

① 教育委員会運営費（文教課）

1 教育委員会の開催（16回開催）

取扱議案

開催日	議案
4月24日	議案なし（諸報告のみ）
5月16日	議案第11号 向日市立学校の教職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について 議案第12号 向日市議会令和5年第2回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
6月5日	議案第13号 人事に関することについて 議案第14号 向日市教育委員会教育長の辞職の同意について
7月6日	議案なし（諸報告のみ）
8月17日	議案第15号 令和6年度に使用する小学校教科用図書の採択について 議案第16号 令和6年度に使用する学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について 議案第17号 向日市議会令和5年第3回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
9月21日	議案第18号 人事に関することについて
9月26日	議案第19号 向日市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 議案第20号 向日市文化財調査事務所管理運営規則を廃止する規則について 議案第21号 教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規程の制定について 議案第22号 向日市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について 議案第23号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について
10月23日	議案第24号 いじめ防止対策推進委員会委員の委嘱について 議案第25号 向日市教育委員会分限懲戒審査会に関する規程を定める訓令の制定について
11月14日	議案第26号 向日市議会令和5年第4回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
11月22日	議案第27号 人事に関することについて
12月26日	議案なし（諸報告のみ）
1月30日	議案なし（諸報告のみ）
2月13日	議案第1号 向日市議会令和6年第1回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
2月27日	議案第2号 人事に関することについて
3月22日	議案第3号 人事に関することについて
3月25日	議案第4号 向日市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 議案第5号 向日市教育委員会事務決裁規程及び向日市教育委員会分限懲戒審査会に関する規程の一部を改正する訓令について 議案第6号 令和6年度 向日市の教育について 議案第7号 向日市スポーツ推進委員の委嘱について

2 総合教育会議の開催（1回開催）

第1回 令和6年3月19日

議題 「留守家庭児童会の今後について」

1 0 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

② 事務局運営費（学校教育課）

1 適応指導教室の設置

市内の不登校の児童生徒を対象に個々の実態に応じた相談活動や体験学習等を通じて、主体性の育成及び人間関係の改善等を図り、学校への復帰や希望進路の実現につなげられるよう、適応指導教室「ひまわり広場」を設置した。

2 教育相談事業の充実

小中学生の保護者等を対象に来所教育相談（市役所等）や電話教育相談、学校への巡回教育相談や学校訪問による教育相談を実施した。年々、相談の内容が複雑化・多様化する中、継続的な相談へも丁寧に対応した。

3 豊かな心のサポート充実事業

小中学校に「心の相談サポーター」を配置し、不登校傾向の児童生徒を対象に、学習支援や教育相談等を行い、生徒の悩み、不安、ストレス等の解消を図り、心にゆとりを持てるような環境を提供した。

4 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入（令和5年度主要事業）

学校や保護者、地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むため、全ての市立小中学校で学校運営協議会を年度内に設置し、コミュニティ・スクールを導入した。

1 0 教育費 1 教育総務費 3 幼児教育振興費

① 幼児教育振興費（文教課）

1 私立幼稚園設備費補助金	630,000 円	（1 園当たり	210,000円）
2 私立幼稚園教材教具購入補助金	270,000 円	（1 園当たり	90,000円）
	422,100 円	（1 人当たり	900円）
3 乙訓私立幼稚園協会教育研究補助金	195,000 円	（1 園当たり	65,000円）
4 私立幼稚園特別支援教育振興補助金	2,940,000 円	（1 人当たり	98,000円）

1 0 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

① 学校管理運営費（学校教育課）

1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

2 小学校登下校交通安全事業

通学路の危険箇所48箇所に交通指導員の配置や、「交通安全反射電柱幕」の設置を行い、通学路の安全を図った。

また、向日町警察署等の協力を得て交通安全教室を開催するなど、交通安全意識の高揚に努めるとともに、1年生児童に「防犯ブザー」を配布し安全対策に努めた。

3 教育支援委員会

(1) 目 的

市立小中学校に在籍又は就学予定の幼児、児童及び生徒について、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な就学について審議し、相談及び指導を行った。

(2) 委員構成（33人）

市立小中学校教職員	15 人	市内私立幼稚園教職員	3 人
市立保育所職員	3	医師	1
市内私立保育園職員	3	保健師	1
特別支援教育専門職	2	教育委員会事務局職員	3
児童福祉施設職員	1	臨床心理士	1

(3) 相談指導件数 128 件

② 学校給食管理費（学校教育課）

1 小学校給食 令和5年5月1日現在

学 校 名	給 食 実 施 児 童 数
向 陽 小 学 校	601 人
第2向陽小学校	550
第3向陽小学校	313
第4向陽小学校	757
第5向陽小学校	484
第6向陽小学校	302
計	3,007

給食の方式・・・単独校調理場方式 給食の型・・・完全給食週5日制 米飯給食・・・週4回

2 給食備品の整備

食器消毒保管庫、ガス回転釜、包丁殺菌庫、冷蔵冷凍庫等給食備品を購入した。

3 給食設備保守点検

給食機器保守点検業務委託

4 食中毒防止対策

(1) 栄養士等給食関係従事者の保菌検査の実施

(2) 食材検査の実施

5 学校給食調理等業務委託

学校給食調理等業務委託実施（全小学校）

6 公会計による給食費の徴収

小学校給食費について、教職員の負担軽減等を図るため、市が徴収管理を行う公会計により、口座振替及び納付書による徴収を実施した。

7 物価高騰による学校給食費の値上げ分の補助

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業）

長引く新型コロナウイルス感染症の影響と食料品を含む物価高騰による市立小学校児童の保護者の負担軽減を図るため、学校給食費の値上げ分相当額について補助を実施した。

事業費： 11,140,780円

③ 健康管理費（学校教育課）

- 1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）
- 2 1年生児童に心電図検査を実施
- 3 結核健診精密検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施
- 4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出
- 5 小学校就学予定者を対象とする就学时健康診断の実施
- 6 学校薬剤師による空気、照度、水質、ダニ検査などの実施
- 7 教職員に対しストレスチェックを実施するとともに、長時間労働者のうち希望者を対象に医師等による面接指導を実施

④ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

⑤ 学校施設管理費（公共建物整備課）

1 小学校施設修繕

全 校	衛生設備器具、漏水、消防設備、空調設備、舞台吊物
向 陽 小 学 校	プールサイド及び槽塗装、体育倉庫屋根、黒板、教室床、廊下塗装
第2向陽小学校	プールバルブ、網戸、扇風機
第3向陽小学校	給食室床、建具、樋、校務員室トイレ、受電設備
第4向陽小学校	天井落下防止、I C T設備、防球ネット、渡り廊下屋上防水 暴風雨対策、受電設備、教室整備
第5向陽小学校	受電設備、プール床及び排水、防球ネット、相談室 建具、照明設備、I C T設備
第6向陽小学校	樹木落下防止、樹木剪定及び撤去、給食室ファン、給食室扉、I C T設備

2 施設保守管理業務委託等

全 校	機械警備、学校管理、便器等清掃、運動施設遊具 自家用電気工作物保安管理、消防用設備等保守点検管理 G H P空調機器保守管理、樹木剪定、プールろ過装置保守点検 放送設備点検管理、シャッター保守点検
向 陽 小 学 校	樹木薬剤散布、除草、受水槽・高架水槽清掃点検管理 エレベーター保守管理点検、自動ドア定期点検管理、トイレ改修設計
第3向陽小学校	樹木薬剤散布、給食リフト保守点検管理、トイレ改修設計
第4向陽小学校	樹木薬剤散布、給食リフト保守点検管理
第5向陽小学校	受水槽・高架水槽清掃点検管理 給食リフト保守点検管理、トイレ改修設計
第6向陽小学校	受水槽・高架水槽清掃点検管理、給食リフト保守点検管理

・第2向陽小学校改築事業（令和5年度主要事業）

建替に伴う敷地現況調査を実施

3 学校施設環境整備事業（令和5年度主要事業）

児童生徒が安心・安全な教育環境のもとで学校生活が送れるよう、外壁改修工事、車椅子使用者用トイレ設置等バリアフリー化整備工事、校舎及び体育館のトイレ改修工事、LED改修工事を実施した。

小学校施設整備工事

外壁塗装等改修工事（向・3・5向小） 95,975,000円（繰越事業）

事業内容：外壁のひび割れ、欠損、浮き等の補修及び塗装等改修工事

バリアフリー化整備工事（3向小） 6,589,000円

事業内容：多機能トイレ、照明器具、手洗器具などの整備

トイレ改修工事（向・4・6向小） 47,531,000円（繰越事業）

事業内容：トイレの洋式化、衛生機器及び照明器具の更新

LED改修工事（向・4・6向小） 12,685,045円（繰越事業）

事業内容：教室、廊下等の照明機器のLED化

4 その他小学校施設整備工事

(1) 屋上防水工事（4・5向小）（4向小：繰越事業）

10 教育費 2 小学校費 2 教育振興費

① 特別支援学級費（学校教育課）

1 特別支援教育充実事業

児童一人ひとりの障がいの状態と発達の状況を把握し、個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、学習及び発達の保障に努めるとともに、特別支援教育指導員（3向小・5向小・6向小）の活用や特別支援教育支援員の配置により、きめ細やかな支援を行った。また、全小学校に設置した通級指導教室において、児童の障がいに応じた指導を行った。

2 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	おりたたみシールド、中型ペグボード
第2向陽小学校	いろいろ合わせボード、脳トレボードゲーム
第3向陽小学校	バランス平均台
第4向陽小学校	トランポリン、上皿自動はかり
第5向陽小学校	おりたたみシールド、モザイクボードセット
第6向陽小学校	巧技台、ゴムふた、タイムタイマー

3 通級指導教室用教材備品購入

主 な 購 入 備 品 名
算数文章題イメージトレーニングワークシート、バランスボード

4 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	15 人	383,325 円
学用品等購入費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）	95	604,990
校外活動費（宿泊を伴うもの）	16	30,227
修学旅行費	9	152,714
給食費	90	2,103,302
合 計		3,274,558

② 教育助成費（学校教育課）

1 学校図書館図書の整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	令和5年度末蔵書冊数
向 陽 小 学 校	486 冊	85 冊	400 冊	13,044 冊
第2向陽小学校	382	56	400	13,302
第3向陽小学校	381	27	400	10,976
第4向陽小学校	372	147	337	13,212
第5向陽小学校	382	27	400	13,202
第6向陽小学校	445	22	400	10,933
計	2,448	364	2,337	74,669

※購入冊数には、ふるさと応援寄附等による購入分485冊を含む。

2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	CDラジカセ、アイロン、跳び箱、マット
第2向陽小学校	CDラジカセ、絵画作品乾燥棚、気圧・温湿度計、気体検知管
第3向陽小学校	CDラジカセ、アコーディオン、マット
第4向陽小学校	絵画作品乾燥棚、デジタル顕微鏡カメラ、マット
第5向陽小学校	CDラジカセ、打楽器セット、絵画作品乾燥棚
第6向陽小学校	ハードル、絵画作品乾燥棚、オーブントースター

3 要保護・準要保護児童援助費

経済的理由により就学が困難と認められる児童に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	59 人	3,189,540 円
学用品費等	327	5,046,648
校外活動費（宿泊を伴うもの）	52	191,665
修学旅行費	68	1,205,903
通学費	1	29,820
給食費	326	15,782,905
医療費	13	101,410
オンライン学習通信費	2	13,200
合 計		25,561,091

4 府の委託・補助事業

(1) 府「乙訓学力充実校」 実践研究指定校：第3向陽小学校

自校の学力状況に基づき、確かな学力の育成を目指す学校独自の取組を行い、教育力の向上と児童生徒の学力向上を図った。

(2) 府「絆の作り手育成プログラム」 実践研究指定校：第5向陽小学校

市内の文化財の保存と伝承に係る「正解のない問い」について、文化財調査事務所等の関係機関と連携し、解決策を作成する学習活動を行った。

5 タブレット端末学習システム整備事業

「GIGAスクール構想の実現」において市内の小中学校に導入したタブレットを活用して、より質の高い教育を実践するために、授業支援システムとデジタルドリルの導入を行った。

事業費：10,494,000円

③ ひまわり教育費（学校教育課）

児童の豊かな人間性や社会性を育てるため、学校での体験活動やふるさと学習、教員研修等の充実を支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。

1 子ども未来づくり支援事業

児童の実態や地域の特色を踏まえ、社会人講師などによる教育活動、地域との連携による体験活動並びに教員を対象とした講演会及び研修会を実施した。

10 教育費 3 中学校費 1 学校管理費

① 学校管理運営費（学校教育課）

1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

2 1年生生徒に「防犯ブザー」を配布するなど、不審者対策に努めた。

② 学校給食管理費（学校教育課）

1 中学校給食

令和5年5月1日現在

学 校 名	給食実施生徒数
勝 山 中 学 校	527 人
西 ノ 岡 中 学 校	364
寺 戸 中 学 校	494
計	1,385

実施方法等

- ・手 法：センター方式（学校給食センターから各中学校配膳室へ配送）
- ・献立内容：完全給食、米飯週5回、小学校より副食を概ね1品プラス

2 給食設備等保守点検業務委託

- (1) 消防用設備等保守点検業務
- (2) シャッター保守点検業務
- (3) 自動扉保守点検業務
- (4) エアシャワー保守点検業務

3 食中毒防止対策

栄養士等給食関係従事者の保菌検査を実施した。

4 中学校給食調理等業務委託

学校給食センターにおける給食調理、各中学校の配膳室への配送・回収及び、食器類の洗浄等について民間事業者に委託した。

5 公会計による給食費の徴収

中学校給食費について、教職員の負担軽減等を図るため、市が徴収管理を行う公会計により、口座振替及び納付書による徴収を実施した。

6 物価高騰による学校給食費の値上げ分の補助

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業)

長引く新型コロナウイルス感染症の影響と食料品を含む物価高騰による市立中学校生徒の保護者の負担軽減を図るため、学校給食費の値上げ分相当額について補助を実施した。

事業費： 4,490,040円

③ 健康管理費（学校教育課）

生徒及び教職員の健康保持・増進に努めるとともに、保健安全教育を実施した。

1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）

2 1年生生徒に心電図検査を実施

3 結核健診精密検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施

4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出

5 学校薬剤師による空気、照度、水質、ダニ検査などの実施

6 教職員に対しストレスチェックを実施するとともに、長時間労働者のうち希望者を対象に医師等による面接指導を実施

④ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

⑤ 学校施設管理費（公共建物整備課）

1 中学校施設修繕

全校	衛生設備器具、漏水、空調設備、舞台吊物、放送設備
勝山中学校	軒裏塗装、縦樋、受水槽塗装、教室床、衛生設備、網戸、照明設備 防球ネット
西ノ岡中学校	受電設備、空調設備、衛生設備
寺戸中学校	受電設備、バックネット腰壁、グラウンド側溝、樹木剪定、受水槽撤去

2 施設保守管理業務委託等

全校	機械警備、学校管理、便器等清掃、運動施設遊具保守点検 自家用電気工作物保安管理、消防用設備等保守点検管理 GHP空調機器保守管理、樹木剪定 放送設備点検管理、シャッター保守点検、トイレ改修設計
勝山中学校	除草、受水槽・高架水槽清掃点検管理、薬剤散布
西ノ岡中学校	プールろ過装置保守点検管理、受水槽・高架水槽清掃点検管理
寺戸中学校	プールろ過装置保守点検管理

3 学校施設環境整備事業（令和5年度主要事業）

児童生徒が安心・安全な教育環境のもとで学校生活が送れるよう、外壁改修工事、車椅子使用者用トイレ設置等バリアフリー化整備工事、校舎のトイレ改修工事、LED改修工事を実施した。

中学校施設整備工事

外壁塗装等改修工事（西ノ岡中） 51,986,000円（繰越事業）

事業内容：外壁のひび割れ、欠損、浮き等の補修及び塗装等改修工事

バリアフリー化整備工事（寺戸中） 9,878,000円（繰越事業）

事業内容：多機能トイレ、照明器具、手洗器具などの整備

トイレ改修工事（寺戸中） 34,232,000円（繰越事業）

事業内容：トイレの洋式化、衛生機器及び照明器具の更新

LED改修工事（寺戸中） 3,788,555円（繰越事業）

事業内容：教室、廊下等の照明機器のLED化

4 その他小学校施設整備工事

(1) 屋上防水工事（西ノ岡中）

10 教育費 3 中学校費 2 教育振興費

① 特別支援学級費（学校教育課）

1 特別支援教育充実事業

生徒一人ひとりの障がいの状態と発達の状況を把握し、個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、学習及び発達の保障に努めた。また、特別支援教育支援員を配置し、きめ細やかな支援を行った。

2 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝 山 中 学 校	化学記号セット、ジョイントマット
西 ノ 岡 中 学 校	ホワイトボード
寺 戸 中 学 校	トーキングゲーム、姿見ミラー

3 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	8 人	243,920 円
学用品等購入費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）	24	300,600
修学旅行費	7	365,845
給食費	23	614,375
体育実技用具費（柔道）	1	2,495
合 計		1,527,235

② 教育助成費（学校教育課）

1 学校図書館図書の整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	令和5年度末蔵書冊数
勝 山 中 学 校	489 冊	18 冊	400 冊	18,571 冊
西 ノ 岡 中 学 校	461	0	400	13,696
寺 戸 中 学 校	429	15	400	14,961
計	1,379	33	1,200	47,228

※購入冊数には、ふるさと応援寄附等による購入分235冊含む。

2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝 山 中 学 校	走り高跳び用スタンド、柔道用畳、電子てんびん、マット
西 ノ 岡 中 学 校	ワイヤレススピーカー、ストップウォッチ、BD/DVDプレーヤー
寺 戸 中 学 校	生物顕微鏡、デジタル温度計、ライン引き

3 音楽・吹奏楽部備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
寺 戸 中 学 校	オーボエ、譜面台、電子メトロノーム、テナーサックスマウスピース

4 要保護・準要保護生徒援助費

経済的理由により就学が困難と認められる生徒に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	68 人	4,284,000 円
学用品費等	214	5,731,273
校外活動費（宿泊を伴うもの）	1	13,017
修学旅行費	72	3,624,644
通学費	3	206,410
給食費	211	11,128,290
医療費	4	27,172
体育実技用具費（柔道）	39	194,820
オンライン学習通信費	0	0
合 計		25,209,626

5 府の委託・補助事業

- (1) 府「乙訓学力充実校」 実践研究指定校：西ノ岡中学校
 自校の学力状況に基づき、確かな学力の育成を目指す学校独自の取組を行い、教育力の向上と児童生徒の学力向上を図った。

- (2) 府「未来の担い手育成プログラム研究校」 実践研究指定校：西ノ岡中学校
 株式会社美濃吉と連携した課題解決型学習を通して、非認知能力の向上及び学習に主体的に取り組む態度の育成を図った。

6 タブレット端末学習システム整備事業

「GIGAスクール構想の実現」において市内の小中学校に導入したiPadを活用して、より質の高い教育を実践するために、授業支援システムとデジタルドリルの導入を行った。

事業費：5,181,000円

7 英語検定チャレンジ事業（令和5年度主要事業）

英語への興味関心を高め、英語力の向上を図るため、市内在住の中学3年生を対象に英語検定を実施した。

受験会場 永守重信市民会館

受験級 準2級、3級

受験者数 （準2級）47人、（3級）105人

事業費：750,940円

③ ひまわり教育費（学校教育課）

生徒の豊かな人間性や社会性を育てるため、学校での体験活動やふるさと学習、教員研修等の充実を支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。

また、授業や部活動に対して、社会人講師の導入を図った。

1 子ども未来づくり支援事業

生徒の実態や地域の特色を踏まえ、社会人講師などによる教育活動、地域との連携による体験活動並びに教員を対象とした講演会及び研修会を実施した。

2 文化芸術活動

英語スピーチ大会を開催し、生徒の発表の場を設けるとともに教科学習の活性化を図った。

10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

② 社会教育委員費（生涯学習課）

1 社会教育委員 12人（男8人、女4人） ※令和5年4月1日現在

2 社会教育委員の会議

	開催日時・会場	内 容
1	5月23日 午後2時～3時30分 市役所 第10会議室	・令和5年度社会教育関係事業計画について ・令和5年度社会教育委員関係の事業予定について
2	7月27日 午後3時～4時30分 市民会館 第4会議室	・令和5年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について ・令和5年度京都府社会教育委員連絡協議会総会参加報告について
3	11月16日 午後1時30分～4時30分 天文館	・人権研修会および家庭教育講座の報告及び実施について ・令和5年度近畿地区教育研究大会参加報告について ・天文館の概要、利活用について
4	2月2日 午前10時～11時55分 市民会館 第1会議室	・令和5年度社会教育関係事業報告について ・令和6年度社会教育指導の重点（案）について ・令和6年度社会教育関係団体等への補助金（予算案）について

3 各種研修会・大会

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参加人数
乙訓社会教育委員等連絡協議会 総会・研修会	6 月 9 日	大山崎ふるさとセン ター	7 人
京都府社会教育委員連絡協議会 総会	6 月 30 日	綾部市中央公民館	7 人
近畿地区社会教育研究大会 「滋賀大会」	9 月 8 日	立命館大学びわこ・ くさつキャンパス	5 人
京都府社会教育研究大会	11 月 21 日	永守重信市民会館	8 人
乙訓社会教育委員等連絡協議会 研修会	2 月 6 日	京都府乙訓総合庁舎	5 人

③ 社会教育活動費（生涯学習課）

1 生涯学習

(1) 向日市生涯学習「人材ほっとバンク」

自らの知識、技能等を市民の学習活動に役立てる熱意のある方及び団体に指導者として登録して
いただき、希望する市民が活用できるよう市ホームページで周知に努めた。

(2) 生涯学習推進サークル「まなぼうや」の活動支援

生涯学習の推進に取り組むボランティアサークルの活動について、各種講座が円滑に開催される
よう、広報活動等の支援を行った。（合計3講座）

(3) 生涯学習情報紙の発行

生涯学習関連事業を広報するため、生涯学習情報紙及び子ども向けの夏休み特集の情報紙
を発行した。

2 人権教育

人権問題の正しい理解と認識を深め、市民の人権意識の高揚を図るため研修会を開催した。

	開 催 日 時	会 場	内 容	講 師	参加人数
1	8月4日 午後7時～8時30分	永守重信 市民会館	講演「アニメ映画から私たちの身近な人 権を考える」	世界人権問題 研究センター 専門研究員	32 人
2	10月13日 午後7時～8時30分	永守重信 市民会館	講演「「私」からはじめる「私たち」の 多様性社会」	とよなか国際 交流協会職員	23 人

3 各種講座・研修会

(1) 地域学校協働活動推進事業コーディネーター等研修会

開 催 日 時	会 場	内 容	講 師	参加人数
3月 4日 3月12日 小中分けて開催	向日市役所 第8会議室	各校の支援事業について（情報交流） コミュニティ・スクール導入後について	教育部職員	14 人

(2) 家庭教育講座の開催

開 催 日 時	会 場	内 容	講 師	参加人数
9月30日 午前10時～11時30 分	永守重信 市民会館	講演「コロナ禍における子どもへの影響 ～子どもの成長に大切なもの～」	立命館大学 産業社会学部 教授	14 人

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

・市立小中学校のPTA（9校） 180,000円

④ 青少年健全育成費（生涯学習課）

1 健全育成事業

(1) 放課後児童サポート事業（京のまなび教室推進事業）

小学校低学年児童が、高学年の下校時間まで、体力づくりや仲間づくりなどにより健康な心身を育むことができる自由遊び等を行い、その後、全学年の児童が一斉に下校することにより、児童を極力一人にさせない下校を確保している。

ア 実施回数 68回

イ 会 場 市内公立小学校

ウ 内 容 グラウンド・体育館での自由遊び、図書室での読み聞かせ、教室での学習支援等

エ サポーター 遊び・学習サポーター、安全サポーター

オ 対 象 者 1～2年生児童

(2) 地域学校協働活動推進事業

保護者をはじめ自治会や農家組合の方など幅広い地域住民の参画を得て、学校に対する多様な協力活動を実施し、地域全体で児童生徒の学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が双方向で連携・協働する活動の充実に向けて取組を進めている。

ア 実施場所 市内公立小中学校

イ 本部委員 56人（男19人、女37人）

ウ 内 容 学習支援、環境整備、読書活動支援等

(3) 青少年健全育成市民ふれあいコンサート

ア 実施日 3月20日

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、演奏者と保護者、学校関係者を対象として実施した。

イ 出演団体 勝山中学校吹奏楽部

西ノ岡中学校吹奏楽部

寺戸中学校吹奏楽・マーチングバンド部

京都西山高等学校吹奏楽部

京都管楽合奏団 ARTY BEARS

2 関係団体との連携活動

(1) 健全育成活動

少年補導委員会をはじめ、PTA等の関係団体とともに補導パトロールを実施し、青少年健全育成活動に努めた。

主な取組

実 施 日	内 容
学校の長期休業日	少年補導の地区ごとに夜間パトロール、各支部パトロール延べ411人参加（うち8月5日市内一斉パトロール108人参加）
随 時	青色回転灯装備車等による市内巡回パトロール

(2) 啓発活動

広報むこう（7月号・11月号）に啓発文を掲載し、青少年の非行・被害防止について注意喚起を行った。

(3) 子ども会育成連絡協議会の主な活動

各子ども会等と連携し以下の活動を行った。

- ・ 7月22日 ものづくり体験教室「作ってみようMyオルゴール、ビュンビュンごま作り」
- ・ 12月10日 ものづくり体験教室「タイル張りコースターづくり」
- ・ 2月12日 ニュースポーツ体験教室 カーリンコン 等

3 はたちの集い（旧成人式）

(1) 実施日 1月8日

(2) 会場 永守重信市民会館

(3) 内容 式典

アトラクション：思い出のスライドショー・ビデオレター

(4) 出席者 388人（対象者531人） 出席率：73.1%

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

(1) 向日市子ども会育成連絡協議会	400,000円
(2) 向日市少年補導委員会	500,000円
(3) 向日市青少年健全育成連絡協議会	100,000円
(4) 物集女青少年健全育成会議	20,000円

10 教育費 4 社会教育費 2 中央公民館費

② 公民館運営費（中央公民館）

1 中央公民館主催事業

生涯学習時代を迎えた今日、市民の多様化する学習ニーズに応えられる各種講座を開催するなど、学習機会及び情報の提供並びに市民の自主的な学習への支援を行い、生涯学習への環境づくりに努めた。

(1) 講 座

事業名	実施日（期間）	参加対象・人数	講師・指導者	内 容
ふしぎ発見！ 理科教室 (5回)		小学生		理科好きの子どもを育成するため、国家資格を有する科学の専門家から理科の不思議について学ぶ
	① 5月27日	高学年 7人	京都技術士会	電子オルガンをつくろう
	② 6月24日	低学年 10人	京都技術士会	カラーペンなどの色を分析してみよう
	③ 7月29日	高学年 25人	京都技術士会	電気自動車をつくろう
	④ 8月26日	高学年 8人	京都技術士会	おいしい水をつくってみよう
	⑤ 9月30日	低学年 15人	京都技術士会	あひるのがっしょう
市民教養講座	9月1日	25 人	ソフトバンク スマホアドバイザー	シニアのためのスマートフォン講座
	10月7日	28 人	京都府立大学客員教授	源氏物語に登場する秋の植物
	11月27日	36 人	ソフトバンク スマホアドバイザー	シニアのためのスマートフォン講座
	12月2日	37 人	京都府立大学教授	人生100年時代 ヘルシーエイジングのための生活習慣
市民健康講座	10月28日	30 人	京都府立医科大学準教授	歯から考える全身健康について
	2月3日	32 人	京都府立医科大学準教授	病院や診療所の検査結果の見方
国際理解講座	9月15日	17 人	京都府立大学教授	フランス料理とポリティクス
市民文化講座	1月13日	30 人	京都西山短期大学客員教授	童謡と唱歌の世界

※いずれも会場は永守重信市民会館

(2) 展示・発表

事業名	実施日（期間）	参加対象・人数	会場	内 容
市民文化展	11月18日・19日	市民、在勤、在学15歳以上 出品者85人、作品数93点、来場者363人	永守重信市民会館	市民の創作による作品を展示・発表する場を提供するとともに、市民の文化活動の活性化を図った。
学習発表会 「舞台の部」	3月10日	出演5団体 62人、来場者200人	永守重信市民会館	公民館で活動しているクラブ・サークルが学習の成果を発表

10教育費 4社会教育費 3地区公民館費

① 地区公民館費（中央公民館）

1 地区公民館における事業

市民が身近な公民館で、一般教養、趣味などの講座に参加することにより教養を高め、また、地域の活性化が図れるように努めた。

(1) 講 座

公民館名	内 容	実 施 日	参加者数	講 師 ・ 指 導 者
寺 戸	健康講座	10月18日	20人	ヨガサークル講師
	ヨガ体験教室			
	趣味・教養講座 楽しく学ぶ干支剪画教室	11月10日	18人	剪画作家
	趣味・教養講座 寄せ植えを楽しもう	12月6日	30人	園芸店スタッフ
物 集 女	趣味・教養講座 干支押し絵づくり	11月18日	14人	物集女地区社協会長
上 植 野	趣味・教養講座 金箔手工芸	11月29日	9人	金箔手工芸作家
鶏 冠 井	趣味・教養講座 お正月の寄せ植え	12月22日	19人	園芸店スタッフ
森 本	健康講座 元気で歩きつづけるために	1月30日	41人	京都府立大学教授

2 グループ活動

(1) 地区公民館クラブ数・部員数

公民館名	寺 戸	物 集 女	森 本	鶏 冠 井	上 植 野	中央	計
クラブ数	29	4	13	9	11	1	67
部 員 数	383人	59人	145人	167人	138人	30人	922人

(2) 学習発表会

公民館クラブ・サークルの1年間の学習成果発表（展示の部）

公民館名	実 施 日	展示・掲示発表 ク ラ ブ 数	クラブ員数	発表内容
寺 戸	令和6年2月3日・4日	9クラブ300点	76人	絵画、俳句、パッチワーク
森 本	令和6年2月10日・11日	10クラブ64点	106人	生け花、フラワーデザイン
鶏 冠 井	令和6年2月17日・18日	9クラブ177点	168人	毛筆書道、ペン習字
上 植 野	令和6年2月24日・25日	2クラブ172点	13人	絵手紙、編み物

3 地区公民館使用状況

（単位：回、人）

公民館名	寺 戸	物 集 女	森 本	鶏 冠 井	上 植 野	中央	計
使用回数	1,311	402	486	355	527	81	3,162
使用人数	13,292	5,147	7,351	3,969	6,956	1,698	38,413

4 寺戸公民館改築事業（令和5年度主要事業）

寺戸公民館解体設計	3,916,000円
公共施設整備に伴う測量	1,265,000円
公共施設整備に係る土地鑑定	374,000円

10 教育費 4 社会教育費 4 文化財保護費

② 文化財保護事業費（文教課・文化推進課）

市内の文化財を保護し、普及・活用を促進するため、次の事業を実施した。

1 市域に所在する指定文化財等

令和6年3月31日現在

		有形文化財								無形文化財	民俗文化財		記念物			伝統的建造物群保存地区	保存技術	合計
		建造物		美術工芸品							有形	無形	史跡	名勝	天然記念物			
件数	棟数	彫刻		絵画	古文書	考古資料	歴史資料											
		仏像	石造物															
国	指定	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6
	登録	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
府	指定	2	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
	登録	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	選定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	暫定登録	0	0	0	0	0	7	17	7	0	2	0	1	0	0	0	0	34
市	指定	0	0	7	1	2	5	7	1	0	1	1	2	0	0	0	0	27
合計		28	29	7	1	3	14	25	8	0	3	2	5	0	0	1	0	97

2 有形文化財の保護

(1) 文化財火災予防運動（乙訓消防組合との共同事業）

令和6年1月23日～29日（令和6年1月26日は、「第70回文化財防火デー」）に次の運動を行った。

- ア 広報活動 広報紙による啓発と併せ、国登録有形文化財「旧上田家住宅」に看板設置。
- イ 消防訓練 令和6年1月29日 ※震災による消防職員派遣のため中止
- ウ 立入検査 1月24日 指定文化財及び登録文化財の建造物に立ち入り、消防設備の点検及び防火意識の高揚を図った。

(2) 向日市文化財保護事業補助金交付事業

社寺及び個人等が所有する文化財等の維持管理に要する経費に対し補助を行った。

ア 向日神社本殿（国指定重要文化財）	防災設備維持管理等	164,000円
イ 須田家住宅（府指定文化財）	防災設備維持管理等	24,000円
ウ 南真経寺開山堂・本堂（府指定文化財）	防災設備維持管理等	22,000円
エ 南真経寺開山堂（府指定文化財）	建造物保存修理	1,155,000円
オ 大極殿遺蹟保存協賛会	文化財保護団体の育成	40,000円
カ 森本遺蹟保存会	文化財保護団体の育成	19,000円

(3) 旧寿岳家住宅（向日庵）平面図作成業務

旧寿岳家住宅（向日庵）を国の有形文化財原簿に登録するため（国登録有形文化財とするため）、申請（意見具申）に添付資料として必要な建物等の平面図を作成した。

ア 内 容 旧寿岳家住宅及び前面（西・北）道路の平面図を作成し、当該平面図に既存建物配置図を合成、石垣及び門柱オルソ画像作成及び解析、その他、旧寿岳家住宅を国登録有形文化財とするための必要な測量業務（境界確定を除く）を実施した。

イ 期 間 令和6年3月28日～令和6年3月29日

ウ 事業費 367,400円

3 記念物の保護

(1) 史跡長岡宮跡大極殿東面回廊地区保全整備事業 **（令和5年度主要事業）**

長岡宮跡大極殿東面回廊地区の史跡を適切に保護し、市民の憩いの場や文化交流の場となるよう多様な活用に供する「史跡公園」として整備を図るための実施設計を行った。

ア 内 容 史跡の環境整備と活用を促進するため、西に隣接する既存整備地と同様の整備を実施するための実施設計を行った。

イ 期 間 令和5年9月8日～令和6年3月15日

ウ 事業費 4,152,500円

(2) 史跡・遺跡等文化財用地の保存と維持管理

ア 内 容 市内に所在する国・府及び市指定史跡などの遺跡11か所を適切に保存・維持するため、除草や清掃等の維持管理業務を実施した。

イ 期 間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

ウ 事業費 3,047,959円

(3) 史跡乙訓古墳群五塚原古墳の樹木伐採

ア 内 容 史跡乙訓古墳群五塚原古墳の史跡境界を越境し、前面道路や隣接地に繁茂している樹木等の剪定等を行い適正な維持管理を図った。

イ 回 数 4回

ウ 事業費 1,980,000円

(4) 史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳の樹木伐採

ア 内 容 史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳の史跡指定地内の孟宗竹間伐処分等実施し、史跡環境の適正な維持管理を図った。

イ 回 数 2回

ウ 事業費 990,000円

(5) 物集女城跡周辺地域合成公図作成業務

ア 内 容 国に対して物集女城跡を史跡指定申請（意見具申）するため、各筆の土地所有者及び土地境界を正確に把握して、申請に必要な合成公図などを作成した。

イ 期 間 令和5年12月14日～令和6年2月9日

ウ 事業費 484,000円

史跡指定地一覧表

史跡長岡宮跡

(単位：㎡)

名称	地区	指定年月日	所在地	小字	史 跡 の 所 有 形 態							整 備 状 況				
					国有地	府有地	市有地	公社等有地	社寺有地	私有地	その他	計	整備地	仮整備地	未整備地	計
史跡長岡宮跡	大 極 殿 ・ 小 安 殿 地 区	昭和39年4月27日	鶏冠井町	大極殿・菰所	0.00	2,510.61	557.22	0.00	0.00	0.00	0.00	3,067.83	3,067.83	0.00	0.00	3,067.83
	内裏内郭築地回廊地区	昭和48年4月23日		荒内	0.00	1,165.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,165.98	1,165.98	0.00	0.00	1,165.98
	築 地 地 区	昭和56年9月8日		稲葉	323.96	0.00	633.70	0.00	0.00	0.00	0.00	957.66	957.66	0.00	0.00	957.66
	朝 堂 院 西 第 四 堂 地区	平成4年5月6日		山畑	0.00	0.00	1,867.86	0.00	0.00	0.00	0.00	1,867.86	1,867.86	0.00	0.00	1,867.86
	宝 幢 地 区	平成11年1月14日		菰所	0.00	0.00	577.74	0.00	0.00	328.95	0.00	906.69	0.00	741.74	164.95	906.69
	閣 門 地 区	平成14年3月19日		菰所	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	769.84	769.84
	朝堂院西第四堂・南門地区	平成14年9月20日		山畑	0.00	0.00	662.18	0.00	0.00	0.00	0.00	662.18	662.18	0.00	0.00	662.18
	閣門前庭・朝堂院南面回廊地区	平成18年7月28日	野上町植	菰所・山畑	0.00	0.00	1,783.50	0.00	0.00	0.00	1,783.50	922.34	0.00	861.16	1,783.50	
		南開														
	大 極 殿 東 面 回 廊 地区	平成22年2月22日	鶏冠井町	菰所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	324.03	0.00	324.03	0.00	0.00	324.03	324.03
	大 極 殿 西 ・ 北面 回 廊 地区	平成26年3月18日		大極殿	0.00	0.00	2,752.90	0.00	0.00	0.00	0.00	2,752.90	1,684.81	0.00	1,068.09	2,752.90
	内裏内郭築地回廊、外郭築地区	平成28年10月3日		東井戸・菰所	0.00	0.00	1,410.73	0.00	0.00	0.00	0.00	1,410.73	0.00	0.00	1,410.73	1,410.73
	大極殿北面回廊地区L	平成31年2月26日		大極殿	0.00	0.00	28.07	0.00	0.00	0.00	0.00	28.07	28.07	0.00	0.00	28.07
	計					323.96	3,676.59	11,043.74	0.00	0.00	652.98	0.00	15,697.27	10,356.73	741.74	4,598.80

史跡乙訓古墳群

(単位：㎡)

名称	指定年月日	所在地	小字	史 跡 の 所 有 形 態								整 備 状 況			
				国有地	府有地	市有地	公社等所有地	社寺所有地	私有地	その他	計	整備地	仮整備地	未整備地	計
五塚原古墳	平成28年3月1日 (平成31年2月26日追加)	寺戸町	芝山古城	0.00	0.00	35,676.84	0.00	0.00	262.94	1,302.44	37,242.22	0.00	0.00	37,242.22	37,242.22
元稲荷古墳	平成28年3月1日	向日町	北山	0.00	2,069.96	6,442.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8,511.96	0.00	0.00	8,511.96	8,511.96
寺戸大塚古墳	平成27年3月10日 (平成28年3月1日追加) (平成31年2月26日追加)	寺戸町	芝山	0.00	0.00	4,380.14	0.00	0.00	0.00	0.00	4,380.14	0.00	0.00	4,380.14	4,380.14
南条古墳	平成28年3月1日	物集女町	南条	0.00	0.00	0.00	0.00	656.23	0.00	0.00	656.23	0.00	0.00	656.23	656.23
物集女車塚古墳	平成28年3月1日	物集女町	南条	0.00	0.00	1,911.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,911.00	1,911.00	0.00	0.00	1,911.00
計				0.00	0.00	48,409.98	0.00	656.23	262.94	1,302.44	52,701.55	1,911.00	0.00	50,790.55	52,701.55

4 埋蔵文化財の保護

(1) 埋蔵文化財の届出審査等

周知の埋蔵文化財包蔵地内（遺跡内）の文化財保護法による届出・通知を審査し、その他各種の調査を実施した。

- ア 開発、まちづくり条例に係る文化財審査 28 件
- イ 建築確認申請に係る文化財審査 217 件
- ウ 届出書受理件数 189 件（遺跡内での個人・法人等が実施した土木工事件数）
- エ 通知書受理件数 21 件（遺跡内での公共機関が実施した土木工事件数）
- オ 発掘調査件数 16 件 1651.00 m²
（「令和5（2023）年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表」参照）
- カ 工事立会件数 151 件

(2) 埋蔵文化財の保存と整備（各種の調査、報告、広報、普及など）

埋蔵文化財の保存と各種の調査及び資料収集等を実施した。

- ア 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金対象事業 16,742,000 円
- イ 向日市単独事業 2,970,000 円
- ウ 原因者負担金事業
公益財団法人向日市埋蔵文化財センターが原因者から受託 21,348,412 円
- エ 埋蔵文化財発掘調査

令和5（2023）年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表							
	遺跡名	調査回数	調査地	調査原因 (土地所有者等)	調査期間	面積 (m ²)	出土 遺物数 (箱)
1	長岡宮跡	第541次	鶏冠井町堀ノ内	法人開発	23.08.29～23.09.08	20.00	3
2	長岡宮跡	第542次	鶏冠井町大極殿	範囲確認	23.09.04～23.11.01	178.50	5
3	長岡宮跡	第543次	寺戸町初田	法人開発	23.11.27～23.12.08	20.00	1
4	長岡京跡	左京第674次	鶏冠井町馬司	法人開発	23.04.10～23.04.21	36.00	1
5	長岡京跡	左京第675次	上植野町落堀	法人開発	23.04.10～23.04.21	30.00	4
6	長岡京跡	左京第676次	鶏冠井町馬司	法人開発	23.05.23～23.08.15	672.00	7
7	長岡京跡	左京第683次	上植野町南小路	法人開発	23.08.21～23.08.28	6.00	1
8	長岡京跡	左京第684次	鶏冠井町十相	法人開発	23.09.21～23.10.04	30.00	6
9	長岡京跡	左京第685次	上植野町芝ヶ本	法人開発	23.09.25～23.10.06	30.00	1
10	長岡京跡	左京第688次	鶏冠井町石橋	法人開発	23.10.31～23.11.14	30.00	1
11	長岡京跡	左京第689次	上植野町桑原	法人開発	23.11.27～23.12.05	20.00	2
12	長岡京跡	左京第690次	鶏冠井町十相	法人開発	23.12.11～23.12.18	25.00	1
13	長岡京跡	左京第691次	鶏冠井町石橋	法人開発	23.01.24～23.03.29	357.50	11
14	長岡京跡	右京第1285次	上植野町堂ノ前	法人開発	23.12.11～23.12.14	16.00	1
15	久々相遺跡	第16次	寺戸町山縄手	法人開発	23.09.25～23.10.05	30.00	1
16	寺戸大塚古墳	第14次	寺戸町芝山	範囲確認	23.10.10～23.11.27	150.00	1
合計						1,651.00	47
一発掘調査あたりの平均						103.19	2.9

(イ) 発掘調査面積は、1 件平均103.19m²である。

(3) 報告書等刊行事業

『向日市埋蔵文化財調査報告書 第128集』 300冊〔埋蔵文化財発掘調査事業〕

公益財団法人向日市埋蔵文化財センターに委託等を行った発掘調査の概要報告書を刊行した。

(4) 市内埋蔵文化財調査出土遺物の保存と整理

ア 長岡京跡ほか出土遺物保存処理業務

(ア) 目的 埋蔵文化財発掘調査出土品に、科学的処理を施し、腐食等の進行を最小限に留めて、向日市文化資料館等での展示など、活用に供するため。

(イ) 処理方法 鉄製品 アルカリ性水溶液含浸
銅製及び青銅製 ベンゾトリアゾール溶液含浸

(ウ) 委託期間 令和5年6月7日～令和6年2月16日

(エ) 点数 京都府指定文化財（考古資料）

物集女車塚古墳出土 f字形鏡板付轡 1点

物集女車塚古墳出土 楕円形杏用葉 1点

物集女車塚古墳出土 有脚伏鉢形雲珠 1点

物集女車塚古墳出土 馬鐸 1点

(オ) 事業費 1,184,700円

イ 長岡京跡ほか出土遺物整理業務

(ア) 目的 数多くある埋蔵文化財出土遺物を適切に管理するため、国や府の基準に基づき分類整理するとともに、公開活用に供するため。

(イ) 業務内容 出土遺物の整理及び台帳の作成を行った。

(ウ) 回数 2回

(エ) 点数 1,710点（累計75,357個）

※将来にわたり保存・活用の必要性や活用度が高いもの

(オ) 事業費 935,000円

5 文化財の広報普及事業

(1) 物集女車塚古墳の石室一般公開

ア 事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金
史跡長岡宮跡ほか地域の特色ある埋蔵文化財活用業務

イ 目的 平成6年度に整備工事を完了した物集女車塚古墳の石室を広く市民に公開し、古墳への理解と文化財保護意識の向上を図るため。

ウ 開催日 令和5年5月27日～6月4日

エ 場所 物集女車塚古墳

オ 見学者 見学者783人 1日平均87人

(2) 「墳タビ！ 物集女車塚古墳」

史跡乙訓古墳群物集女車塚古墳の理解を促進するためAR、VR技術を用いて作成した無料アプリケーションを通じ、史跡の一層の活用と地域振興・観光振興に寄与する。

ダウンロード数 184人（平成28年度からの累計 10,243人）

(3) 古代衣装の貸出

長岡京時代の衣装（雑色3、女官3）を朝堂院公園に常備し、来園者に貸し出すほか、イベントの際には、史跡案内員が着用し、史跡の解説を行った。

貸し出し人数 17人

(4) 資料の貸出等

本市所蔵の出土遺物や写真資料等を他機関へ貸し出すなど、文化財保護及び本市の文化財について広報普及を図った。

ア 貸出

番号	機 関 名 等	点 数	用 途
1	大阪歴史博物館	4	常設展示「難波宮の時代」 出展
2	京都府立山城郷土資料館	3	常設展示「南山城の歴史と文化」 出展
3	野洲市歴史民俗博物館	17	開館35周年記念企画展「四面の鏡-海を越え、つながる王-」 出展
4	和歌山県立紀伊風土記の丘	20	令和5年度秋期特別展示「律令国家成立前夜」
計		44	

イ 写真資料提供、掲載

番号	機 関 名 等	点 数	用 途
1	官公庁	1	展示、広報物に掲載
2	官公庁	7	展示、広報物に掲載
3	官公庁	20	展示、広報物に掲載
4	個人	1	出版物に掲載
5	個人	20	出版物に掲載
6	一般企業	1	出版物に掲載
7	一般企業	1	出版物に掲載
8	一般企業	1	出版物に掲載
9	一般企業	2	出版物に掲載
10	一般企業	1	テレビ放映、ウェブサイトに掲載
11	一般企業	1	テレビ放映、ウェブサイトに掲載
12	個人	1	出版物に掲載
13	官公庁	1	出版物に掲載
計		58	

ウ 資料調査

番号	機 関 名 等	点 数	用 途
1	京都大学大学院	1	修士論文
2	公益財団法人京都府埋蔵文化財センター	1	調査研究
3	京都大学大学院	1	修士論文
4	独立行政法人国立奈良文化財機構	1	調査研究
5	京都府立大学	8	修士論文
6	立命館大学	2	卒業論文
7	古賀市教育委員会	1	調査研究
8	龍谷大学	3	調査研究
計		18	

(5) 文化財の普及・啓発

- ア 事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金
 史跡長岡宮跡ほか地域の特色ある埋蔵文化財活用業務
- イ 目的 朝堂院公園や旧上田家住宅での案内をはじめ、展示や講演会、考古学講座などを一体的に実施し、市民の参加や史跡等の活用を増やし文化財保護への理解を深めるとともに、文化遺産を生かした観光振興・地域活性化を目指す
- ウ 業務 公益財団法人向日市埋蔵文化財センターに委託
- エ 内容

(ア) 史跡長岡宮跡：朝堂院公園地区

案内員を配置して、史跡の管理、説明を行った。

来訪者数 6,106人 (平成22年度からの累計 92,431人)

(イ) 史跡長岡宮跡・南内裏公園地区・国登録有形文化財：旧上田家住宅

案内員を配置して史跡の説明や管理、貸室業務を行った。

来訪者数 8,603人 (令和3年度からの累計 17,685人)

貸室利用者数 185組 8,191人 (令和3年度からの累計 360組 15,344人)

(ウ) AR長岡宮の利用者数

史跡長岡宮跡の理解を促進するためAR、VR技術を用いて作成した無料アプリケーションを通じ、史跡の一層の活用と地域振興・観光振興に寄与する。

・ダウンロード数 381人 (平成26年度からの累計 18,609人)

・タブレット貸出数 16人 (平成26年度からの累計 5,291人)

(エ) 市民考古学講座「古墳時代の王権と淀川水系」

演題 講師		開催日 開催地等	内 容	参加者
1	「木津川流域の古墳」 向日市埋蔵文化財センター職員	令和5年10月22日 文化資料館研修室	講座	62人
2	「桂川流域の古墳」 向日市埋蔵文化財センター職員	令和5年11月5日 文化資料館研修室	講座	64人
3	「淀川流域の古墳」 向日市埋蔵文化財センター職員	令和5年12月3日 文化資料館研修室	講座	56人
4	「AR長岡宮でみるまぼろしの都」 向日市埋蔵文化財センター職員	令和6年3月9日 国登録有形文化財旧上田家住宅	講座	17人
講演会	「ヤマト政権の成立と淀川勢力」 大阪大学大学院教授	令和5年11月12日 永守重信市民会館	講演会	68人
計				267人

(6) 令和５年度調査研究成果展

ア 『寺戸大塚古墳の最新調査成果』

(ア) 期 間 令和５年９月30日～令和５年11月26日

(イ) 場 所 文化資料館研修室

(ウ) 来館者数 2,908人

(エ) 講演会 1

a 開催日 令和５年10月29日

b 場 所 永守重信市民会館

c 内 容 「あらためて問う。前方後円墳から何が語られるか」
(講師 花園大学文学部教授)

d 参加者 56人

(オ) 講演会 2

a 開催日 令和５年11月26日

b 場 所 永守重信市民会館

c 内 容 「古墳出現の道」
(講師 大阪府立弥生文化博物館館長)

d 参加者 64人

イ 『史跡長岡宮跡内裏内郭築地回廊ギャラリー展示』

(ア) 期 間 令和５年６月20日～令和６年３月３日

(イ) 場 所 史跡長岡宮跡内裏・国登録有形文化財旧上田家住宅内蔵

(ウ) 来館者数 374人

(7) 復元体感具学習会開催業務

史跡長岡宮跡の適切な保全と広報・普及啓発を図るため、朝堂院西第四堂を模した塩化ビニル製の体感具を活用したイベントを開催した。

ア 開催日・場所 令和５年８月９日 向日市民体育館

イ 対象年齢 ３歳以上から小学６年生以下まで

ウ 参加者 131人

(8) 史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳竹林小屋設置事業

寺戸大塚古墳竹林小屋は、学校法人京都建築学園京都建築専門学校からのご寄付によるもので、これは、以前から同地に所在した竹林小屋が平成３０年から令和元年度にかけての台風により倒壊し、市民の中からこれを惜しむ声があがり、同校に寄せられたため、授業の一環として同校の生徒の皆さんに建築いただいた。

ア 寺戸大塚古墳竹林小屋竣工式

(ア) 開催日 令和５年10月16日

(イ) 場 所 史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳敷地内

(ウ) 参加者数 50人

6 乙訓文化財事務連絡協議会

(1) 目的

乙訓 2 市 1 町の教育委員会、公益財団法人向日市埋蔵文化財センター、公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センターの 5 機関で構成し、情報交換及び相互の連絡調整を図ることを目的とする。

(2) 「スライドでみるおとくにの発掘」開催

ア 開 催 日 令和 6 年 3 月 3 日

イ 場 所 長岡京市立図書館 3 階 大会議室

ウ 内 容

調査成果報告

(ア) 長岡京跡左京第673次調査の成果

(講師 公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター)

(イ) 長岡宮跡の最新成果

(講師 公益財団法人向日市埋蔵文化財センター)

(ウ) 久保川遺跡の調査成果

(講師 大山崎町教育委員会)

(エ) 長岡京の西市周辺における調査～右京七条一坊十五・十六町の調査から～」

(講師 公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター)

(オ) 最新調査成果から見た石見城跡

(講師 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課)

エ 参 加 者 60人

1 0 教育費 4 社会教育費 5 留守家庭児童会育成費

① 留守家庭児童会育成費（生涯学習課）

1 留守家庭児童会の入会児童数

（単位：人）

留守家庭児童会	児童数（5月1日現在）									
	5年度							4年度	3年度	2年度
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計			
第 1	44	47	31	26	14	4	166	140	124	113
第 2	47	29	31	10	6	8	131	108	104	109
第 3	26	31	18	14	5	3	97	91	66	74
第 4	58	54	49	30	4	3	198	175	156	130
第 5	42	34	31	24	17	6	154	134	150	146
第 6	27	15	13	10	0	0	65	65	46	48
合 計	244	210	173	114	46	24	811	713	646	620

留守家庭児童会保護者協力金調定額（現年度分）	令和5年度 50,381,000円	令和4年度 42,122,700円	令和3年度 36,765,900円	令和2年度 31,479,800円
------------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

留守家庭児童会	指導員・補助員数	アルバイト数（加配）	施 設	
第 1	6 人	6 人	鉄骨造	297.00㎡
第 2	6	7	鉄骨造	160.58
			木造	199.53
第 3	4	4	鉄骨造	167.59
第 4	6	6	鉄骨造	200.81
			木造	299.58
第 5	6	5	鉄骨造	287.67
第 6	4	4	鉄骨造	106.00
			木造	211.94
合計	32	32		

（令和5年5月1日現在）

2 留守家庭児童会指導員研修会

留守家庭児童会指導員の資質向上を図るため、研修会を実施した。

実施月	研 修 内 容
5月	不審者対応と地震対応（地震体験）
6月	救命救急講習
9月	障がいのある児童について
10月	メンタルヘルス研修
11月	人権研修（犯罪被害に遭うということ）
1月	遊びの理解と支援
2・3月	パソコン研修

3 民間放課後児童健全育成事業費補助事業

本市に届出のあった放課後児童健全育成事業を実施する民間事業者に対し、事業費の一部を補助した。

事業者	児童数	補助額
もずめクラブ	37人	9,067,000円
放課後クラブ251	28人	9,166,000円
K U L A L A	1人	1,349,000円

4 第6 留守家庭児童会増築事業（令和5年度主要事業）

入会児童数の増加にあわせて、入会要件を満たす全ての児童の受入れを行うため、第6 留守家庭児童会の増築事業を行った。

- ・木造平屋建 延床面積 207.47㎡

5 留守家庭児童会 I C Tシステム導入事業（令和5年度主要事業）

保護者の利便性向上及び指導員の業務効率化のため、保護者連絡・入退室等システム導入事業を行った。

10教育費 4社会教育費 6図書館費

② 図書館管理運営費（図書館）

1 資料受入れ、廃棄状況

(1) 図書、聴覚資料 (単位：冊、点)

	一般図書	児童図書	CD	カセット	合 計
購 入	2,310	1,275	56	0	3,641
寄 贈	216	139	1	0	356
その他	49	42	0	0	91
廃 棄	851	423	7	0	1,281
合 計	1,724	1,033	50	0	2,807

(2) その他の資料

	雑 誌 (種)	雑 誌 (冊)	新 聞 (種)
購 入	51	708	8
寄 贈	15	164	2
合 計	66	872	10

2 資料所蔵状況

(1) 資料総数

合 計	一 般 図 書	児 童 図 書	雑 誌	聴 覚 資 料
201,390	134,182	57,694	3,529	5,985

(2) 図 書 (単位：冊)

	一 般 図 書	児 童 図 書	合 計
総 記	4,340	410	4,750
哲 学 ・ 宗 教	4,392	277	4,669
歴 史 ・ 地 理	13,856	1,796	15,652
社 会 科 学	20,175	1,750	21,925
自 然 科 学	8,924	3,837	12,761
技 術 ・ 家 政 学	9,662	1,435	11,097
産 業	3,664	809	4,473
芸 術 ・ ス ポ ー ツ	10,969	1,614	12,583
言 語	2,117	509	2,626
文 学	20,646	19,846	40,492
近 代 小 説	33,314		33,314
外 国 の 本	581	129	710
絵 本		22,732	22,732
紙 芝 居		1,509	1,509
長岡宮跡関係	149		149
向日市関連	545	79	624
ヤング・アダルト	848	962	1,810
合 計	134,182	57,694	191,876

(3) 聴覚資料 (単位：点)

資 料 名	
C D	4,826
カセットテープ	1,141
レ コ ー ド	18
合 計	5,985

3 図書館運営状況

(1) 貸出資料数

(単位：冊、点、日)

合 計	一般図書	児童図書	雑 誌	聴覚資料	他館借用 資 料	開館日数	平 均		
							1日当たり	土日	祝日
290,024	144,890	126,324	8,859	8,724	1,227	296	980	1,473	971

(2) 貸出者数

(単位：人、日)

合 計	一 般	児 童	団 体	開館日数	平 均		
					1日当たり	土日	祝日
85,921	75,669	9,760	492	296	290	418	268

(3) 各種サービス

資料の貸出しのほか、以下のサービスを行った。

- ア レファレンス 73件
- イ コ ピ ー 5,941枚（うちカラー254枚）
- ウ 予 約 29,316件
- エ 他館との資料の相互貸借 貸出し 1,061点 借用 1,306点
- オ 障がい者サービス 自宅配本 28回 198点
- カ 外部データベース・インターネット 利用件数 323件

(4) インターネットホームページの運営・管理

- ア 「ブックリスト」管理※の運用
 - イ 「資料検索」ページの充実
 - ウ インターネットサービスの運用（インターネット予約受付件数 25,210件、貸出期間の延長）
 - エ 「京都府図書館総合目録ネットワーク」の横断検索に対応
- ※「ブックリスト管理（読書推進サービス）」は、読書記録等を専用のインターネットサイトに残す機能

4 雑誌スポンサー制度

12法人が申請し、15誌の提供をいただいた。

5 施設利用の促進

(1) 自習室の開設

研修室の空いている期間を利用し、夏休み期間に自習室を開設した。

令和5年8月8日～19日 34人 《対象》小学5年生以上

(2) 自習スペースの常時開放

参考図書室の閲覧席を、開館時間中いつでも自習席として利用できるよう開放した。

利用者数 523人（令和5年12月9日開始）

6 施設の維持管理等

- (1) ロビーと成人図書室に設置された階段の手摺修繕を行った。
- (2) 図書館南側（車庫前）において、車止め改修工事を行った。
- (3) 図書館吸収式冷温水機真空部品の交換修繕を行った。
- (4) 消火栓ホース修繕、屋外床面タイル修繕などを行った。

7 公共施設長寿命化事業（令和5年度主要事業）

図書館と文化資料館の駐輪場及び車庫の外壁改修工事を実施し、市民の皆様が安心・安全に施設を長く利用できるよう、部位修繕を併用した計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図った。

対象事業費 1,371,480円（全体金額2,285,800円のうち、残額は文化資料館）

③ 読書推進事業費（図書館）

1 読書推進事業

事業名、テーマ	開催日	参加人数	内容
<おはなし会> 『なつやすみ おはなし会』 『ふゆやすみ おはなし会』 『はるやすみ おはなし会』	令和5年 7月21日・7月25日 令和5年 12月26日・12月27日 令和6年 3月26日・3月27日	39人 42人 18人	絵本によるお話、紙芝居を職員が行った。 ≪対象≫4歳～小学校低学年、保護者同伴可
おはなしひろば	令和5年 4月15日・5月20日 6月17日・9月16日 10月21日・11月18日 令和6年 1月20日・2月17日	155人	親と子どものふれあい、児童の読書推進を目的に、図書館ボランティアが開催した。
大人の朗読会	令和5年 6月20日・9月24日 12月19日 令和6年3月31日	60人	名作の朗読を聴く会を図書館ボランティアが開催した。
むこうビブリオバトル	令和5年 7月29日・11月25日 令和6年3月30日	34人	発表者が5分間で、互いに本を紹介しあう「ビブリオバトル」を、図書館ボランティアが開催した。
虹いろおはなし会	令和5年 5月6日・8月27日 11月12日 令和6年2月11日	52人	テーマに沿った作品の朗読を聴く会を図書館ボランティアが開催した。
子ども読書の日・こどもの読書週間記念事業 「どきどきわくわくみつけた！」	令和5年4月23日 ～5月5日	—	おはなし会の開催や、「おたのしみ袋」の貸出、「ひがわりテーマ架」の設置、「読書手帖」、「しおり」、「ブックリスト」、「ポストカード」などの配布を実施した。
第22回小中学生読書感想文コンクール	募集期間 令和5年9月3日 ～24日 入賞者表彰式 12月23日	161人	市内の小・中学生を対象に読書感想文を公募した。その中から優秀作品を選考し表彰式を実施するとともに入賞作品集を発行した。
図書館本の修理ボランティアステップアップ講座	令和5年9月22日	10人	図書館本の修理ボランティアの技能向上のための講座を実施した。
図書館本の修理ボランティア養成講座	令和5年9月15日	10人	図書館で活動していただける新たなボランティアを募集し、最初に必要な技術を習得してもらうことを目的に実施した。10人の受講者のうち6人がボランティア登録を行った。
体験学習、施設見学	令和5年9月・10月	150人	市内小学校（2校）の事前学習のための館内撮影協力と児童の貸出（2校）を受け入れた。 ※体験学習は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
第11回「子ども読書本のしおりコンテスト」入賞作品の展示	令和5年12月17日 ～12月25日	—	京都府図書館等連絡協議会主催の「子ども読書本のしおりコンテスト」の入賞作品を借用して展示した。

事業名、テーマ	開催日	参加人数	内 容
文学講座 文学ナビ 「山本周五郎文学の魅力」	令和6年3月7日 3月14日	34人 33人	生誕120年を迎えた山本周五郎の代表作といわれる『樅ノ木は残った』などに焦点をあて、山本周五郎が作品に込めた思いや、作品の楽しみ方などを学んだ。
バリアフリー図書コーナー 「りんごの棚」	令和5年4月 ～令和6年3月	—	点字絵本、LLブック（※）、大活字本などをあつめたコーナーを常設し、利用促進を図った。 ※LLブックとは、やさしくてわかりやすいように書かれた本
渡邊武コレクション 常設展示	令和5年4月 ～令和6年3月	—	寄贈を受けた「渡邊武コレクション」を広く市民に紹介するため図書館1階カウンター横の展示ケースにおいて2か月ごとにテーマを変えて展示した。
ミニミニ リサイクルコーナー	令和5年4月 ～令和6年3月	—	保存年限の経過した図書や雑誌を、資源の有効活用を目的として市民に無償で譲渡した。 (2,114冊)
他機関との協力	随時	—	社会福祉協議会、市、関連団体の事業にあわせたテーマ（「認知症」、「平和と人権」、「読書週間」など）で図書の展示貸出を実施した。
展示	随時	—	利用者が児童図書を推薦する掲示板「本の木」（213枚）、季節、催事にあわせて図書を展示するテーマ架など年間をとおして図書に関わる展示を行い貸出へつなげた。

2 ボランティア活動

- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1) アベリアクラブ | 21人 |
| 活動 本の修理 | 延べ 630人、1,570冊を修理 |
| (2) きつず・らいぶらりー | 17人 |
| 活動 おはなしひろば | 8回開催 参加人数 子ども 84人 大人71人 |
| | 打ち合わせ・リハーサル等延べ活動人数 232人 |
| (3) 大人の朗読会ボランティア | 4人 |
| | 4回開催 参加人数 60人 |
| (4) むこうビブリオバトル部 | 4人 |
| | 3回開催 参加人数 34人 |
| (5) 虹いろ朗読会 | 5人 |
| | 4回開催 参加人数 52人 |

1 0 教育費 4 社会教育費 7 資料館費

② 資料館運営費（文化資料館）

1 入館者の状況

- (1) 入 館 者 数 12,666人
- (2) 開 館 日 数 297日
- (3) 1 日平均入館者数 43人
- (4) 団 体 見 学 29団体（20人以上の団体のみ）

2 施設の維持管理

清掃管理、リフト保守管理、空調設備保守管理、消防設備点検、樹木剪定、燻蒸業務、自動ドア保守管理、階段手摺修繕などを委託し、施設の適切な維持管理に努めた。

3 公共施設長寿命化事業（令和5年度主要事業）

図書館と文化資料館の駐輪場及び車庫の外壁改修工事を実施し、市民の皆様が安心・安全に施設を長く利用できるよう、部位修繕を併用した計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図った。

対象事業費 914,320円（全体金額2,285,800円のうち残額は図書館。）

③ 文化活動推進事業費（文化資料館）

1 事業

事業名・テーマ	開 催 日 時	参加人数	内 容
日曜談話会 ①「明治期京都画壇の知られざる女性画家たち—六人部暉峰を中心に—」 ②「北真経寺所蔵鶏冠井檀林関係資料について」	①令和5年6月18日 午後2時～4時 ②令和6年3月31日 午前10時30分～正午	①29人 ②28人	文化資料館職員が、日頃の展示・普及活動の準備や資料調査によって得られた成果をテーマを設けて、紹介した。
古代衣裳公開研修 古代衣裳講演会「飛鳥時代～長岡京期 200年間の衣裳変遷」	令和5年6月25日 午後2時～3時30分	24人	文化資料館の古代衣裳復元製作のご指導をいただいている専門家に、飛鳥時代から長岡京期までの200年の衣裳の変遷について解説いただく講演会を開催した。
夏休み親子歴史教室 「つくって学ぶ さわって感じる 和紙文化と向日庵」	令和5年7月27日 令和5年7月28日 午後1時30分～3時 (全2回)	14人 (延べ28人)	市内に居宅があった英文学者・和紙研究家の寿岳文章の業績や和紙の性質などを学習するとともに、紙漉きや和紙を用いた作品づくりを体験するワークショップを開催した。
課題解決型体験学習 「戦国時代へタイムスリップ！西岡衆をさぐる」 ※主催：KYOTO地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会(事務局：京都府文化生活部文化政策室)	令和5年8月27日～ 令和6年2月4日 (全10回)	17人 (延べ159人) 第10回 発表会 観覧者80人	室町から戦国時代に乙訓地域を治めていた国衆「西岡衆」について学ぶ学習プログラムを実施した。座学、かぶとづくりなどの体験、現地見学を通じて、武士の生活や地域の歴史を学んだ参加者が、最終日にその成果を発表した。

事業名・テーマ	開催日時	参加人数	内 容
連続ワークショップ 「学んで語ろう！古代のみやこ・長岡京」	令和5年9月30日 令和5年10月28日 令和5年11月11日 (全3回)	14人 (延べ 42人)	古代衣裳の学習や腰かざりの製作を通して、長岡京の歴史を学ぶ連続ワークショップを開催した。11月11日の長岡京遷都の日に、古代衣裳と腰かざりを身につけ、学んだ成果を発表した。
小さいピアノ♪コンサート	令和6年1月13日 午後2時～4時	演奏者 15人 鑑賞者 50人	令和元年に実施した「小さいピアノ♪再生ワークショップ」によってよみがえったピアノでコンサートを開催した。
歴史講座Ⅰ 「明治・大正の乙訓漢文石碑を読もう」	令和6年3月10日 令和6年3月17日 午前10時30分～正午 (全2回)	延べ 79人	明治・大正期の石碑から、日本における漢文のひろがりや歴史について学ぶ講座を開催した。
歴史講座Ⅱ 「古文書を読もうー幕末京都の文人2 名産贈答ー」	令和6年3月23日 令和6年3月30日 午前10時30分～正午 (全2回)	延べ 68人	寺戸出身の幕末の歌人岡崎秀雄に関わる古文書を読み解きながら、当時の人々の贈答のありさまなどを学ぶ講座を開催した。
記念講演会 「文化財を守り伝えるー京都府暫定登録文化財向日神社社額を事例にー」	令和6年3月24日 午後2時～午後3時30分	34人	企画展「扁額・古文書・檀林関係資料」の展示品についてさらに深めた内容を市民対象にわかりやすく伝えるため、講演会を開催した。

2 むこうまち歴史サークルの育成

文化資料館を拠点とする自主学習サークルとして、テーマごとに班を編成し、各班ごとに毎月2回の学習活動を支援・育成した。（登録者33人）

4月22日(土)：年次総会

歴史学習班：地域の歴史を研究し、その成果を取りまとめ、記念誌の発行を行う。

石造物班：石造物に特化した調査研究班。建碑場所の地図作り、碑の解説作業を行う。

史跡めぐり班：「乙訓学ことはじめ」（京都新聞洛西版掲載）を輪読する。

古文書班：地域に残る古文書を読み解く。（資料：「五人組帳写」）

3 文化資料館ボランティアの会の育成

常設展示案内を中心に来館者に応対するボランティアの会の育成・支援を行った。（登録者16人）

活動内容

- ・ボランティア養成講座の開催（全6回）
- ・団体見学の案内等 30件 ・土曜日の案内延べ 2,941人
- ・定例会・懇話会 15回 ・展示事業の設営等協力 1件

4 博物館実習生の受入

地域の歴史や文化財に関心を持ち、主体的に取り組もうとする市民を育成する目的で、当館での博物館実習を希望する大学生9人を受け入れ、展示、収蔵資料の整理・管理などの実務を指導した。

5 資料提供・協力

向日市天文館開館30周年記念番組「こぎつねチロンと星の王子さま」ビデオ製作にあたり、古代衣裳製作ボランティアによる常設展示室の紹介や、歴史サークル会員による声の出演に協力をした。

④ 調査収集展示事業費（文化資料館）

1 調査収集

- (1) 展示のための資料調査、収集、研究
- (2) 普及活動（歴史教室・日曜談話会など）のための調査、収集、研究
- (3) 乙訓の歴史・文化に関する資料調査、収集、研究
- (4) 図書の収集整理 資料館活動に関する参考図書の収集整理
(令和5年度受領図書 175機関・個人3人 計369冊)

2 資料の公開

- (1) 収蔵資料貸出 5 件
- (2) 写真・模型等二次資料貸出 31 件
- (3) 資料写真撮影・複写 68 件
- (4) 考古資料閲覧 0 件
- (5) 古文書閲覧 7 件
- (6) 民具閲覧 0 件
- (7) 書籍閲覧 6 件

3 常設展・テーマ展示コーナー

- (1) 常設展示の点検、清掃、補修
- (2) テーマ展示

常設展示以外に、館収蔵品、寄託品を中心に、テーマを設けた展示を実施した。

タイトル	展示期間
武者人形と天神人形	令和5年4月8日～5月28日
六人部暉峰と前田玉英	令和5年6月3日～7月30日
くらしのなかの戦争展「学校と戦争」	令和5年8月5日～9月18日
くらしの道具展	令和6年1月20日～2月29日
ひな人形展	令和6年2月17日～3月24日
向日市・乙訓の石碑	令和6年3月9日～5月6日

4 市内歴史資料展示事業（令和5年度主要事業）

- (1) 企画展「扁額・古文書・檀林関係資料」

ア 実施内容

これまでに京都府暫定登録文化財となった向日市内の文化財のうち、扁額（社額）や古文書、鶏冠井檀林関係資料を展示して、さまざまな文化財を守り伝えられていることを紹介した。

イ 開催期間 令和6年3月9日～令和6年5月6日

ウ 入館者数 798人（令和6年3月9日～31日）

10教育費 4社会教育費 8天文館費

① 天文館管理運営費（天文館）

1 プラネタリウム関係

(1) 一般投影及び団体予約投影番組

「たいようくんとおつきちゃん」、「七夕ものがたり」、「THE MOON 月のふしぎ」、
「Wonders of the Universe」、「宇宙～その大きさを感じてみよう」、「流れ星をおいかけて」
「ネイチャーリウム 富士の星暦 日本最高峰を知る」、「宇宙はノンストップ」、
「妖怪ウオッチ♪コマさんからのSOS！ブラックホールへレッツゴーだニャン♪」、
「水の惑星-星の旅シリーズ-」、「planetarian～ちいさなほしのゆめ～」

ア 総入館者数及び開館日数

	観覧者数（予約及び一般投影）					ロビー 展示のみ 入館者	入館者 総数	開館日数
	投影回数	大人	小中学生	幼児	観覧者計			
計	622回	2,781人	1,386人	2,014人	6,181人	2,073人	9,490人	243日

※入館者総数には、定例観望会、特別観望会、天文学等講座、教室、特別事業参加者人数を含む。

イ 団体予約学習投影

	投影 日数	投影 回数	市内	市外	観覧料		観覧者数			
					有料	免除	大人	小中学生	幼児	合計
計	48日	56回	12件	43件	12件	43件	331人	191人	1,272人	1,794人

ウ 一般投影

（単位：人）

	投影 日数	投影 回数	観覧者数（予約及び一般投影）			
			大人	小中学生	幼児	合計
計	204日	622回	2,450人	1,195人	742人	4,387人

(2) 特別企画

事業名、テーマ	開催日時（期間）	対象・人数	講師・指導者	内 容
プラネタリウム投影券の引替事業	令和5年7月1日～11月30日	小・中・特別支援学校 339人	向日市天文館職員	天文に関心や興味をもつ機会にして欲しいという目的から鑑賞券配布を行った。
七夕ファミリーコンサート2023	令和5年8月5日 全2回	幼児、小学生とその保護者 36人	「オカリナデュオ ビスコンティ」	オカリナの生演奏と当日の星空解説を開催した。
天文よもやま講座	令和5年10月21日 令和5年11月11日 全2回	一般（幼児不可） 55人	向日市教職員、向日市天文館職員	天正十年の本能寺の変、当日の星空と歴史的事実をプラネタリウムで解説を行った。
熟睡プラ寝たリウム	令和5年11月25日	一般（幼児不可） 21人	向日市天文館職員	満天の星と癒やしの音楽で深い眠りへ誘う「熟睡プラ寝たリウム」を開催した。
クリスマスコンサート2023	令和5年12月16日	一般（幼児不可） 28人	バイオリン奏者	バイオリンの生演奏と当日の星空解説を行い参加者のリラクゼーションと天文への関心を深められるよう開催した。
特別天体観望会スターウォッチング in 朝堂院	令和5年5月27日	一般 60人	向日市天文館職員、ボランティア	朝堂院公園で仕事帰りや近所の住民など、望遠鏡や双眼鏡を使って月や惑星を観望を開催した。
キッズプラネタリウム	令和5年2月24日 全2回	一般（幼児は保護者同伴） 37人	向日市天文館職員	「こぎつねチロンと星の王子さま（長岡京跡の歴史）」の投影と冬の星空案内。 生涯学習施設（天文館・図書館・文化資料館・埋蔵文化財）が協力して作成をした。

2 天体観望会関係

事業名、テーマ	開催日時（期間）	対象・人数	講師・指導者	内 容
(1) 定例天体観望会	毎月第3土曜日	一般 320人	向日市天文館 職員、向日市 天文館ボラン ティア	星空解説や星座等の観望を通して 天体への関心を深めてもらうこと を目的に開催した。 開催回数 12回 天体観測・星空解説開催 9回 星空解説のみ開催 12回
(2) 特別天体観望会 夏の親子天体観望会	令和5年8月26日	小学生とそ の保護者 21人	向日市天文館 職員、向日市 天文館ボラン ティア	小学生とその家族が天体観望会に 参加し、反射望遠鏡・屈折望遠鏡 等で観望した。
昼の金星観望会	令和5年5月19日～ 21日 10月6日～8日 全2回	一般 51人	向日市天文館 職員	金星の満ち欠けを反射望遠鏡・屈 折望遠鏡等で観望した。
中秋の名月観望会	令和5年9月29日	一般 13人	向日市天文館 職員	中秋の名月を望遠鏡でや双眼鏡で 観望した。

3 講座・講演関係

事業名、テーマ	開催日時（期間）	対象・人数	講師・指導者	内 容
天文実験講座 テーマ「キラキラのステ ンドグラスをつくろう」	令和5年7月22日	小学4年生 ～中学3年 生 12人	京都技術士会	科学の不思議を学ぶ実験講座を開 催した。
天文よもやま講座	令和5年10月21日 令和5年11月11日 全2回	一般（幼児 不可） 55人	向日市教職員 と向日市天文 館職員	天正十年の本能寺の変、当日の星 空と歴史的事実をプラネタリウム で解説を行った。
天文学講座第1講 テーマ「月と暦をめぐる 話」	令和5年10月29日	一般（幼児 不可） 34人	大阪市立科学 館	月食とその仕組みや二十四節季に などの講座を開催した。
天文学講座第2講 テーマ「今年はプラネタ リウム100周年」	令和5年12月3日	一般（幼児 不可） 23人	大阪市立天文 科学館学芸員	プラネタリウムの歴史やしくみ・ 機能などを通じて、宇宙の姿を伝 える魅力など最新天文学に関する 講座を開催した。
出前講座 ①テーマ『月の満ち欠け の仕組み』 ②③④テーマ『月と星』	令和5年9月8日 令和9月29日 令和10月6日 令和10月27日 全4回	向日市内小 学校（2・ 3・5・6向 陽小） 281人	向日市天文館 職員	市立の小学校へ出向き、具体物の 月見井を通し「月の満ち欠けの仕 組み」や「星」に関する講座を開 催した。
特別天文講演会 テーマ「惑星探査の最前 線：「みお」が挑む水星 探査」	令和6年1月20日	一般（幼児 不可） 53人	JAXA宇宙科学 研究所	惑星探査『みお』が難しい点やそ れを克服するためのペピ・コロン ボ計画についてなどの講演会を開 催した。

4 天文教室関係

事業名、テーマ	開催日時（期間）	対象・人数	講師・指導者	内 容
夏の天文教室 ①② 「望遠鏡をつくろう」	令和5年7月26日 令和5年8月9日 全2回	小学4年生 ～中学生 20人	向日市天文館 職員	キットと使い組み立て完成した望遠鏡で対象物を観望した。
夏の天文教室 ③④ 「プラネタリウムで星をさがそう」	令和5年7月27日 全2回	③小学1年生～3年生 とその保護者 19人 ④小学4年生～6年生 9人	向日市天文館 職員	プラネタリウム室で星と一緒に探し星座の名前などを知る機会になった。
夏の天文教室 ⑤ 「星座うちわをつくろう」	令和5年8月2日	小学4年生 ～中学生 11人	向日市天文館 職員	キットを使いオリジナルのうちわを製作した。
夏の天文教室 ⑥ 「星座の立体モデルをつくろう」	令和5年8月3日	小学1年生 ～中学生 11人	向日市天文館 職員	キットを使い星座の立体モデル製作し、天文を身近に感じてもらえる機会になった。
秋の天文教室 テーマ「コペルニクス以後の宇宙像探求の紆余曲折」	令和5年9月9日	小学4年生 以上 4人	向日市天文館 ボランティア	コペルニクスがの地動説を数学的に解説。コペルニクスが地動説を発表して以降、地動説が受け入れられるまでの宇宙像の議論の流れを16世紀まで紹介。
冬の天文教室 ① 「星座の立体モデルをつくろう」	令和6年1月27日	一般（小学4年生以上） 1人	向日市天文館 職員	キットを使い星座の立体モデル製作し、天文を身近に感じる機会になった。
冬の天文教室 ② 「望遠鏡をつくろう」	令和6年2月10日	一般（幼児不可、小学3年生以下は要保護者同伴） 10人	向日市天文館 職員	キットを使い製作し、出来た望遠鏡で対象物を観望した。

1 0 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

② スポーツ健康増進事業費（生涯学習課）

市民の健康の保持・増進とコミュニケーション形成に寄与するため、市民誰もが、いつでも、どこでもスポーツ活動を行える生涯スポーツの推進に努めた。

また、生涯スポーツを振興する上で、指導的役割を担うスポーツ推進委員の資質向上のため、研修の充実に努めた。

1 スポーツ推進委員 13人（男7人、女6人）※令和5年5月1日現在

- (1) スポーツ推進委員協議会定例会を毎月第1木曜日に開催した。
- (2) スポーツ推進委員協議会において毎月1回実技研修を開催した。
- (3) スポーツ文化協会、ワイワイスポーツクラブなどが実施する事業に対して運営協力を行った。
- (4) 乙訓スポーツ推進委員連絡協議会研修会・大会

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参 加 人 数
総 会	6月14日	永守重信市民会館	12人
評 議 員 会	5月31日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	8月31日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	3月27日	京都府乙訓総合庁舎	3人
第1回乙訓スポーツ指導者研修会	9月13日	西山公園体育館	7人
第2回乙訓スポーツ指導者研修会	11月16日	大山崎町民体育館	8人

(5) その他研修会等

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参 加 人 数
第 55 回 京 都 府 スポーツ推進委員 研 究 大 会	6月25日	みやづ歴史の館	12人
近 畿 スポーツ推進委員 研 究 協 議 会	2月3日・4日	1日目フェニーチェ堺 2日目吹田市 (万博記念公園コース)	12人

2 学校体育施設及び向日町競輪場スポーツ施設の開放

(1) 小学校体育施設

(単位：回)

学校名	運動場開放状況						体育館（大体育室）開放状況					
	開 放 回 数		使 用 回 数		稼 働 率		開 放 回 数		使 用 回 数		稼 働 率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
向 陽 小 学 校	175	323	119	136	68.0%	42.1%	165	295	107	190	64.8%	64.4%
第2向陽小学校	180	337	147	177	81.7%	52.5%	169	312	107	298	63.3%	95.5%
第3向陽小学校	168	319	59	168	35.1%	52.7%	153	286	134	271	87.6%	94.8%
第4向陽小学校	170	313	118	259	69.4%	82.7%	168	288	141	271	83.9%	94.1%
第5向陽小学校	168	327	111	141	66.1%	43.1%	156	298	94	158	60.3%	53.0%
第6向陽小学校	180	336	140	188	77.8%	56.0%	161	297	115	231	71.4%	77.8%
合 計	1,041	1,955	694	1,069	66.7%	54.7%	972	1,776	698	1,419	71.8%	79.9%

(2) 中学校体育施設

(単位：回)

学 校 名	体育館（大体育室）開放状況		
	開 放 回 数	使 用 回 数	稼 働 率
	夜 間	夜 間	夜 間
勝 山 中 学 校	264	235	89.0%
西ノ岡中学校	239	212	88.7%
寺戸中学校	270	264	97.8%
西ノ岡中学校武道場	245	207	84.5%
合 計	1,018	918	90.2%

(3) 向日町競輪場スポーツ施設

(単位：回)

施設名	開 放 回 数		使 用 回 数		稼 働 率	
	昼 間	夜 間	昼 間	夜 間	昼 間	夜 間
多目的運動広場（Dグラウンド）	771		75		9.7%	
テニスコート（2面）	196		29		14.8%	
卓 球 場	586		326		55.6%	

3 スポーツ振興事業

(1) 第42回市民総合体育大会の開催（（公財）向日市スポーツ文化協会との共催事業）

種 目	参加チーム・参加者数	期 日
ソフトボール 男子・シニア	6チーム／95名(7)	5月21日
テ ニ ス	19名(12)	7月15日
ボ ウ リ ン グ	9チーム／27名(6)	6月4日
バドミントン ダ ブ ル ス	47チーム／94名(14)	6月10日
バレーボール 男 子 女 子	8チーム／59名(7)	6月25日
	6チーム／51名(8)	
グラウンド・ゴルフ	51名(14)	6月4日
ゲ ー ト ボ ー ル	3チーム／15名(2)	6月17日
卓 球	9チーム／67名(20)	6月18日
ソフトテニス	28チーム／56名(12)	6月11日
バスケットボール	4チーム／40名(10)	6月18日
ゴ ル フ	6名(2)	7月6日
ソフトバレーボール	8チーム／40名(12)	7月17日
合 計	128チーム／746名（本部役員含む）	11日間

(2) スポーツ交流フェア（（公財）向日市スポーツ文化協会との共催事業）

日 程 令和5年11月23日

会 場 市民体育館 健康増進センター 向日町競輪場

競技名	参加者数
交流試合 玉 入 れ	45
カーリンコン・モルック・ピックルボール体験会	127
卓球室無料開放	29
ハンナリーズバスケットボールクリニック・公開練習	500
カグヤライズカップ	9
スポーツ体験（バドミントン・スリータッチ）	36
トレーニング室無料開放	100
エアロビクス・かんたん筋トレ	47
ミニ体力測定	49
インボディ測定・骨ウェーブ測定・パワープレート	209
BMX体験会	22
チアダンス他	21
合 計	1,194

(3) スポーツ情報交換会（（公財）向日市スポーツ文化協会主催事業に後援）

内 容	実施日	場 所	参加対象	参加人数	講 師
市民スポーツ講演会	令和6年 2月18日	都ホテル 京都八条	向日市民	130名	向日市スポーツ文化協会理事長

4 体育団体育成事業

(1) 少年スポーツ団体への事業補助

団 体 名	種 目 名	団 員 数
向日市スポーツ少年団本部 (野球2、サッカー1、バレー1、剣道1、少林寺2、空手1)		8 団体
向日市野球スポーツ少年団	野 球	24 人
向日レジェンド	野 球	34 人
向日ポパイズ	野 球	24 人
向日ウィングス少年野球クラブ	野 球	45 人
向日市バドミントン協会 向日市ジュニア	バドミントン	29 人
向日市柔道教室	柔 道	18 人
少林寺拳法京都向日町スポーツ少年団	少 林 寺 拳 法	16 人
育成事業補助金額	304,000 円	合 計 190 人

(2) （公財）向日市スポーツ文化協会への運営・事業補助

○運営・事業補助金 総額 52,943,000円

(内訳) 運営補助金 27,124,000円

事業補助金 25,819,000円

○加盟団体 地区体育振興会 11 地区

種 目 団 体 11 団体

5 各種大会等選手派遣事業

京都府下（市町村対抗）に選手を派遣した。

延べ308人

大会名	期 日	市 町 村 対 抗 競 技	市町村交流種目
第46回京都府民総合体育大会	令和5年8月 ～ 令和6年2月	バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、軟式野球、バドミントン、ソフトボール、サッカー、ボウリング、陸上競技、グラウンド・ゴルフ、ゴルフ、駅伝競走	ソフトバレーボール、卓球バレー、ボッチャ

6 フレンドシップ協定関連事業

向日市健康・アカデミー（健康・体力づくり教室）

実 施 日 2月9日

場 所 市民体育館

参加対象 市内在住の60歳以上の方

参加人数 25人

講 師 京都サンガF.C. 健康アカデミー コーチ

7 市民体育館管理運営

平成18年度から指定管理者制度を導入し、令和3年度から5年間の指定管理者に（公財）向日市スポーツ文化協会を指定している。

指定管理料 30,000,000円

体育室稼働率 87.9%

満足度調査の実施

8 生涯スポーツ振興事業

教育委員会のスポーツ事業の一部を（公財）向日市スポーツ文化協会に委託した。

委託料 974,000円